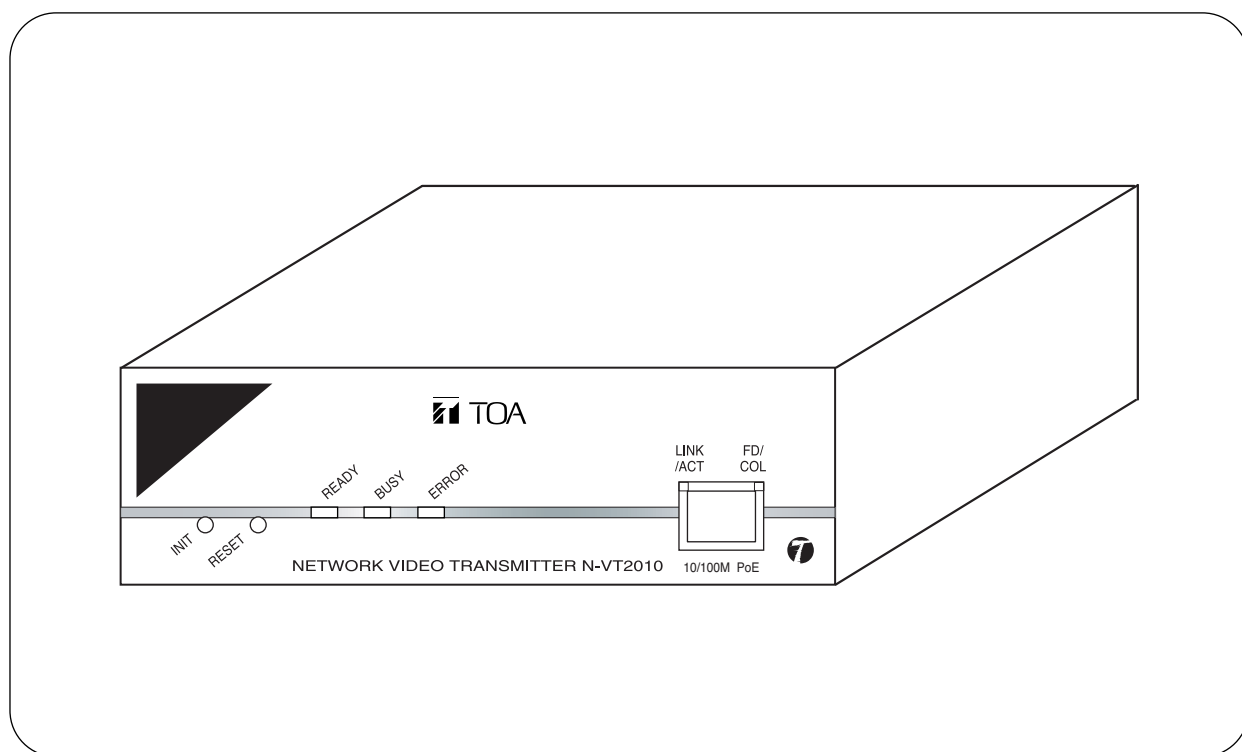




取扱説明書

ネットワークビデオトランスミッター N-VT2010



このたびは、TOA ネットワークビデオトランスミッターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目 次

安全上のご注意	3
内容物一覧	6
概 要	6
特 長	6
使用上のご注意	7
システム構成	8
各部の名称とはたらき	
前 面	9
後 面	10
接続のしかた	
接続例	11
カメラの接続	11
ネットワークの接続	11
マイクの接続	11
音声入出力の接続	12
シリアルポート	12
接点入出力端子	13
DIP スイッチの設定	13
工場出荷時設定の戻しかた	14
故障かな？と思ったら	14
仕 様	15
パーソナルコンピューター要件	16

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁 止	接触禁止	強 制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。
屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。
また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁 止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき



電源プラグ
を抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁 止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁 止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁 止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気
のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強 制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

内容物一覧

本機には次のものが同梱されていますので、確認してください。

電源変換ケーブル	1
CD（ネットワークソフトウェアデコーダー：N-SD2000、取扱説明書（PDF））	1
ネットワークトランスミッター取扱説明書	1
ソフトウェア使用許諾契約書	1
映像ネットワークシステム設置ガイド	1
保証書	1
連絡先一覧表	1

※ CDの中には、ネットワークソフトウェアデコーダー、ネットワークソフトウェアデコーダー取扱説明書、設定説明書、N-DR2000 状態監視ソフトウェア／取扱説明書、各機器の最新ファームウェア、Adobe Reader、DirectXが入っています。

概 要

LANに直接接続して、カメラなどの映像信号と音声信号をリアルタイムに伝送する機器です。MPEG-4とJPEGを同時に配信できるため、なめらかな動画の監視と精細な静止画の録画が可能です。また、サブバンドADPCMあるいはPCMによる高品質音声を双方向で伝送できます。電源はAC24 V、DC24 Vに加えPoE対応していますので、ネットワーク経由での電源供給により配線工事の省線化／簡略化が可能です。12 VのDC電源出力を持っていますので、CVシリーズカメラやリモートコントローラー等の機器に電源を供給することができます。付属のネットワークソフトウェアデコーダーを使って、パソコン画面上で遠隔監視するシステムを容易に実現できます。また、デジタルレコーダーやコンビネーションカメラの遠隔操作も可能です。

特 長

- 音声入出力（ライン／マイク入力、ライン出力）を搭載し、双方向の伝送ができます。
- RS-232C/ RS-485 経由でデジタルレコーダー、マルチスイッチャー、コンビネーションカメラなどの外部機器制御ができます。
- Web サーバーを内蔵し、Web ブラウザーを使用してアクセスできます。
- 付属のネットワークソフトウェアデコーダーを使用して、監視システムとして使用できます。
- PoE に対応しているため、ネットワークケーブル1本でカメラ側に電源を供給できます。カメラの設置場所ごとに電源を用意する必要が無く、設置の自由度が大幅に向上します。（PoE：Power over Ethernetの略。IEEE802.3afに準拠した規格で、10BASE-T/100BASE-TXなどのネットワークを使用し、通常のデータ伝送と同時に電源を供給することができます。）

使用上のご注意

- 強いショックや振動を与えないでください。故障の原因になります。
- 温度が0℃～+50℃、湿度が90％以下（ただし結露のないこと）の場所で使用してください。
- 清掃は、乾いたやわらかい布でふいてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因になります。
- LAN ケーブル、映像ケーブル、音声ケーブルを配線するときは、電気製品（蛍光灯）など、他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質や音質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を離してください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、ビデオモニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。
- ケーブル用の場所を十分確保してください。
- 本機は風通しのよい所に置いてください。
- 電氣的障害を防ぐため、接続には適切なケーブルを使用してください。
- ケーブルが傷つかないように設置し、張りを考慮し余裕を確保してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスを設定する必要があります。
- ユニキャストで複数配信する場合、フレームレートが落ちることがあります。
- マルチキャスト機能を使用する場合、ネットワークがマルチキャストに対応している必要があります。
- 複数接続の場合、受信側の要求データレートが異なると、最小データレートでの通信になります。
- ストリーミングの場合、接続がないときでもトランスミッターからデータは常時、ネットワークに流れます。
- ネットワークビデオトランスミッターの設定には、PC が必要です。
- ネットワークソフトウェアデコーダーは Macintosh や Unix の OS には対応していません。
- 本機へ接続するときにノイズ障害が考えられる場合は、カテゴリ 5 規格以上のシールド付 LAN ケーブル（STP）を使用してください。

MPEG-4 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取扱いに関して、MPEG 技術（MPEG-4 VISUAL STANDARD）を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。

以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。

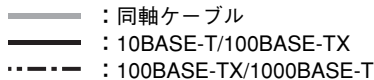
MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、(i) MPEG-4 VISUAL STANDARD に適合するビデオ（以下、「MPEG-4 ビデオ」）の符号化、及びまたは、(ii) 個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された MPEG-4 ビデオ、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された MPEG-4 ビデオの復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) をご覧下さい。

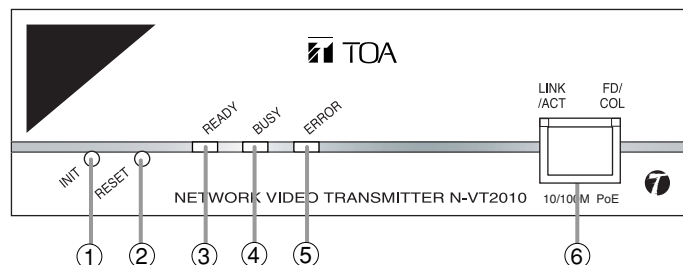
システム構成

アナログ CCTV システムは、従来のカメラやスイッチャーなどのシステムです。
PoE 対応の HUB を使用するときは、N-TV2010, N-VR2010, N-CC2360 の電源を接続する必要はありません。
PoE に対応しない HUB を使用するときは、各機器の電源を接続してください。N-CC2561, N-CC2571 と
N-DR2000 には AC100 V を接続してください。



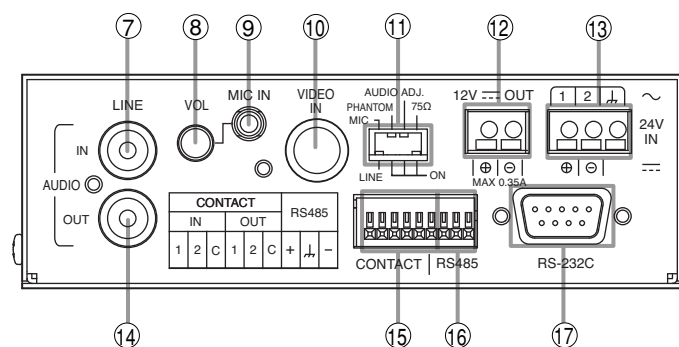
各部の名称とはたらき

[前面]



- ① 初期化スイッチ (INIT)
設定内容を工場出荷時設定にするときに使用します。
- ② RESET スイッチ
スイッチを押すと、再起動します。
- ③ READY LED (緑)
起動状態で点灯します。起動中は速い点滅をします。また、ファームウェアの書き換え中は、ゆっくりと点滅します。
- ④ BUSY LED (黄)
通信しているときに点灯します。
- ⑤ ERROR LED (赤)
異常が発生し、動作停止したときに点灯します。その後、自動的に再起動し消灯します。
- ⑥ ネットワーク端子 (RJ-45)
10BASE-T または 100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。
 - LINK/ ACT (緑)
ネットワークが正常に接続されているときは点灯し、データが送受信されると点滅します。
 - FD/ COL (黄)
全二重モードで通信しているときは点灯し、半二重モードのときは消灯しています。ネットワーク上でコリジョンが発生しているときは点滅します。

[後面]



⑦ 音声入力端子

ラインレベルの音声を入力する端子です。
-10 dB、10 kΩ、不平衡型です。

⑧ マイク入力レベルボリューム

マイクの入力レベルを調節します。

⑨ マイク入力端子

マイクの音声を入力する端子です。
-60 dB、2.2 kΩ、ファンタム電源9 Vを供給できます。

⑩ 映像入力端子

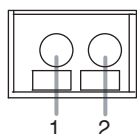
映像信号を入力する端子です。

⑪ 設定スイッチ

- **MIC/ LINE** (工場出荷時設定: LINE)
音声入力をラインレベル⑦またはマイクレベル⑨で使用するかを設定します。
- **PHANTOM** (工場出荷時設定: OFF)
マイク入力端子にファンタム電源9Vを供給するかどうかを設定します。
- **AUDIO ADJ** (工場出荷時設定: OFF)
音声/マイク入力レベルを調整するときに使用します。
- **75 Ω** (工場出荷時設定: ON)
映像入力端子を75 Ω終端するかどうかを設定します。

⑫ DC12 V 出力端子 (2P)

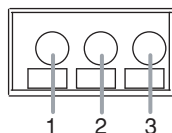
DC12 Vを出力する端子です。(最大0.35 A) CVシリーズなどに接続します。



番号	端子名
1	DC12 V
2	GND

⑬ AC/ DC24 V 入力端子 (3P)

AC24 VまたはDC24 Vを入力する端子です。
PoEで使用する場合は、接続しないでください。



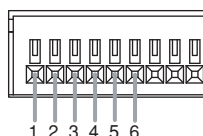
番号	端子名
1	AC/ DC24 V +
2	AC/ DC24 V -
3	FG

⑭ 音声出力端子

ネットワーク経由で受信した音声を出力する端子です。
-10 dB、ローインピーダンス、不平衡型です。

⑮ 接点入出力端子

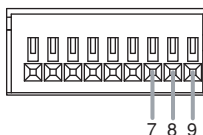
- **CONTACT IN** (3P) 接点入力端子 (2系統)
- **CONTACT OUT** (3P) 接点出力端子 (2系統)



番号	端子名	番号	端子名
1	CONTACT IN 1	4	CONTACT OUT 1
2	CONTACT IN 2	5	CONTACT OUT 2
3	C	6	C

⑯ RS-485 (3P)

コンビネーションカメラなどの外部機器を制御する端子です。



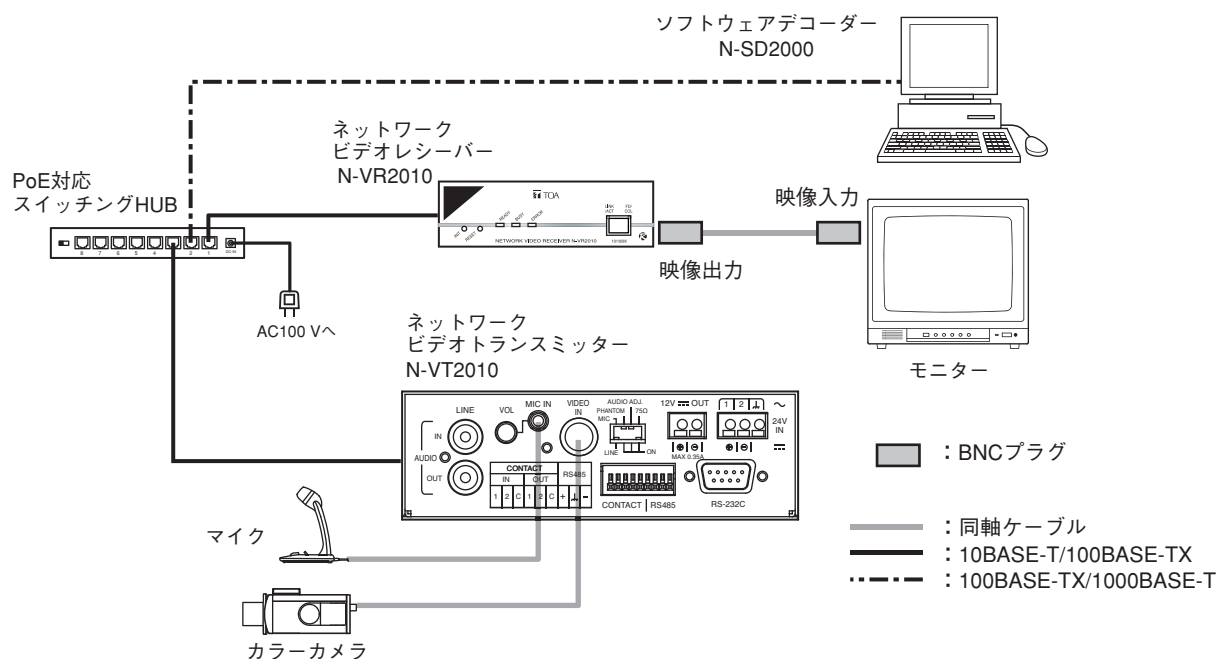
番号	端子名
7	RS-485 +
8	GND
9	RS-485 -

⑰ RS-232C

ネットワーク経由で他の機器をRS-232Cで制御する場合に接続します。

接続のしかた

■ 接続例



■ ご注意

- PoE 対応の HUB を使用する場合は、HUB より電源供給されますので、AC24 V または DC24 V を接続しないでください。
- PoE 対応の HUB を使用しない場合は、HUB より電源供給されませんので、AC24 V または DC24 V を接続してください。
- 電源を DC24 V で使用する場合は、別売の AC アダプター AD-246 をお使いください。このとき付属の電源変換ケーブルを AD-246 のプラグに挿してご使用ください。ケーブルの白線表示が⊕極になります。

■ カメラの接続

カメラまたはスイッチャーなどの映像機器を、同軸ケーブル（75 Ω、BNC）を使用して、本機の映像入力端子に接続してください。DC12 V 電源の TOA 製カメラ（C-CV202-2 など）を使用する場合は、DC12 V 出力端子からカメラに電源を供給することができます。

■ ネットワークの接続

本機はストレートケーブルを使用して HUB に接続してください。PC に直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

■ マイクの接続

ミニジャックでマイクを接続します。エレクトレットマイクを使用する場合は、ファンタム電源（9V）を ON にしてご使用ください。

■ 音声入出力の接続

ラインレベルの音声をピンジャックで接続します。音声入力はいく入力と同時に使用できません。

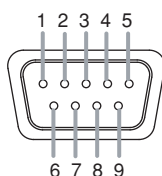
■ シリアルポート

【RS-232C】

マルチスイッチャー、デジタルレコーダー、システムコントローラーの制御端子と YR-S2320 などのクロスケーブルを用いて接続します。

本機には、RS-232C コネクター用のプラグは付属されていません。

- RS-232C コネクター D-sub 9P



番号	端子名
1	未接続
2	RXD (受信データ)
3	TXD (送信データ)
4	未接続
5	GND
6	未接続
7	RTS (送信要求)
8	CTS (送信許可)
9	未接続

RTSとCTSは、内部でショートしています。

【RS-485】

コンビネーションカメラやリモートコントローラーの制御端子を接続します。

- 適応線材

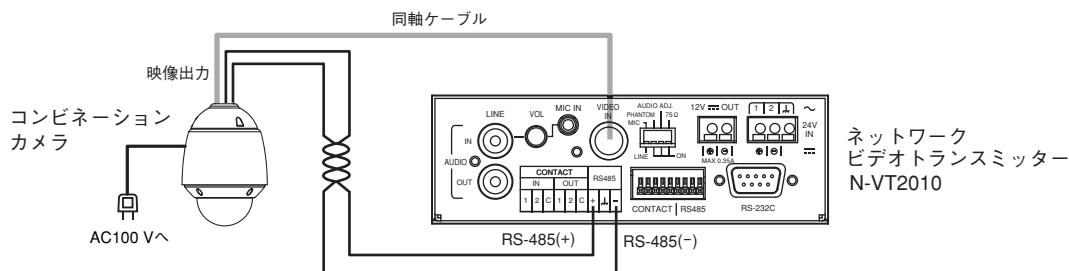
単線 : $\phi 0.32 \text{ mm} \sim \phi 0.65 \text{ mm}$ (AWG28 ~ AWG22)

より線 : $0.08 \text{ mm}^2 \sim 0.32 \text{ mm}^2$ (AWG28 ~ AWG22)

※コードの被覆を 10 mm 程度はがし、ドライバーなどで端子上のボタンを押しながらコードを挿入して接続します。

ご注意

コンビネーションカメラの切換スイッチや設定をネットワークソフトウェアデコーダーと合わせる必要があります。各取扱説明書を参照してください。



■ 接点入出力端子

接点入力

2系統の無電圧接点入力があり、センサーなどの検知信号を接続して使用します。接点が入力されると、ネットワークビデオレシーバー、またはネットワークデジタルレコーダーに自動的に接続することも可能です。詳しくは、設定説明書を参照してください。

接点出力

2系統の接点出力があり、外部機器の制御や映像ネットワークシステム機器間の接点ブリッジなどが可能です。詳しくは、設定説明書を参照してください。

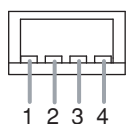
● 適応線材

単線 : ϕ 0.32 mm \sim ϕ 0.65 mm (AWG28 \sim AWG22)

より線 : 0.08 mm² \sim 0.32 mm² (AWG28 \sim AWG22)

※コードの被覆を 10 mm 程度はがし、ドライバーなどで端子上のボタンを押しながらコードを挿入して接続します。

■ DIP スイッチの設定



番号	端子名
1	MIC/ LINE
2	PHANTOM
3	AUDIO ADJ
4	75 Ω

- 1 : 音声入力をマイクレベルとラインレベルに切り換えます。マイク接続時は MIC に、その他の場合は LINE に設定します。工場出荷時は、LINE に設定されています。
- 2 : 供給電圧は DC9 V です。音声入力端子に接続された機器にファンタム電源を供給する場合は、MIC/LINE スイッチを MIC に設定した上で、スイッチを ON に設定します。工場出荷時は OFF に設定されています。
- 3 : 音声の調整時に使用します。調整時には ON に設定し、再起動してください。調整が終わったら OFF にし、再起動してください。音声入力およびマイク入力された音声を音声出力端子から出力させ、モニタリングすることができます。工場出荷時は、OFF に設定されています。
- 4 : 映像入力端子の信号を分配して使用するときは OFF で使用します。通常は ON で使用してください。工場出荷時は、ON に設定されています。

工場出荷時設定の戻しかた

Web ブラウザーで設定した内容を工場出荷時設定に戻すときは、本機の初期化スイッチ（INIT）または Web ブラウザーの初期化ボタンで行います。

メモ

Web ブラウザーの初期化ボタンで出荷時設定に戻す場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは工場出荷時設定には戻りません。

Web ブラウザーの初期化ボタンについては、設定説明書を参照してください。

1 本機の初期化スイッチ（INIT）を押しながら RESET スイッチを押す、または初期化スイッチ（INIT）を押しながら電源を再投入する。

2 READY LED が点滅から点灯に変わるまで初期化スイッチ（INIT）を押し続ける。

故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	対処のしかた
起動しない。（READY LED が点灯しない）	電源が入っていない。 [電源に PoE 対応の HUB を使用する 場合] ・ PoE 対応の HUB に接続されてい ない。 ・ PoE 対応 HUB の PoE 機能が有効に なっていない。 ・ PoE 対応 HUB の PoE 非対応ポー トに接続されている。 ・ PoE 対応 HUB の供給電力を超過し ている。 [電源に AC24 V または DC24 V を使用 する場合] ・ 接続する端子が間違っている。	電源を入れてください。
LINK/ACT LED が点灯 しない。	本機のネットワーク端子にケーブルが 正しく接続されていない。	ケーブルの種類（カテゴリー、クロ ス／ストレート）と接続するポートが 適切であることを確認し、正しく接続 してください。
時計の年月日が大きく ずれている。 （電源を再投入すると時 刻が「1 月 1 日 0 時」に なる）	内部時計のバックアップ用の電池が切 れている。	販売店にお問い合わせください。 または最寄りの営業所、お客様相談セ ンターにご相談ください。

仕 様

*1 0 dB = 1 V

電 源	源	AC24 V 50 / 60 Hz、DC24 V、PoE (IEEE802.3af)
消 費 電 力		DC 電源出力 0.35 A 出力時 12 W : AC24 V (11 W : PoE、500 mA : DC24 V) DC 電源出力 無負荷時 6 W : AC24 V (5 W : PoE、250 mA : DC24 V)
電 源 端 子		スクリューレスコネクター (単線: ϕ 0.4 ~ ϕ 1.2 mm (AWG26 ~ 16) より線: 0.2 ~ 1.25 mm ² (AWG24 ~ 16))
D C 電 源 出 力		DC12 V、最大 0.35 A、スクリューレスコネクター
映 像 入 力		1 系統、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω 、BNC ジャック
音 声 入 力		1 系統、不平衡、ライン/マイク (スイッチで切換) ライン: -10 dB *1、10 k Ω 、RCA ピンジャック マイク: -60 dB *1、2.2 k Ω 、ミニジャック、VR 調整可 ファンタム電源 (9 V スイッチで設定)
音 声 出 力		1 系統、-10 dB *1、ローインピーダンス、不平衡、RCA ピンジャック
音 声 周 波 数 特 性		50 Hz ~ 14 kHz (サンプリング周波数 32 kHz 時)
接 点 入 力		2 系統、無電圧接点入力、開放電圧: DC3.3 V、短絡電流: 10 mA 以下、 ループ抵抗: 200 Ω 以下、スクリューレスコネクター
接 点 出 力		2 系統、オープンコレクター出力、耐電圧: DC30 V、制御電流: 50 mA、 スクリューレスコネクター
シ リ ア ル ポ ー ト		RS-232C : D-sub コネクター (9 ピン、オス)、 RS-485 : スクリューレスコネクター
ネ ッ ト ワ ー ク	ネ ッ ト ワ ー ク I / F	10BASE-T/100BASE-TX、自動/固定: RJ45
	ネットワークプロトコル	TCP、UDP、SIP、RTP、IGMP、HTTP、ARP、DHCP、DNS、SNTP、FTP、SMTP
	映像圧縮方式/画素数	MPEG-4 : D1 (720 × 480)、Half D1 (720 × 240)、QVGA (320 × 240) JPEG : D1 (720 × 480)、Half D1 (720 × 240)、VGA (640 × 480)、 QVGA (320 × 240)、QQVGA (160 × 120)
	フレームレート	MPEG-4 (RTP) : 最大 30 fps、JPEG (RTP) : 最大 5 fps、 JPEG (HTTP) : 最大 30 fps
	音声圧縮伸張方式	サブバンド ADPCM、PCM (圧縮なし)
	音声サンプリング周波数	8 kHz、32 kHz
	画像伝送レート	MPEG-4 : 最大 4 Mbps
	同時アクセス数	MPEG-4 (RTP) : 4 (ストリーミングモード時は無制限)、JPEG (RTP) : 1、 JPEG (HTTP) : 16
	対応 Web ブラウザー	Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9
そ の 他 の 機 能		パスワード設定、モーションディテクト
使 用 温 度 範 囲		0 °C ~ +50 °C
使 用 湿 度 範 囲		90%RH 以下 (ただし結露のないこと)
仕 上		ケース: 表面処理銅板、シルバー、塗装
寸 法		136 (W) × 44 (H) × 127.9 (D) mm (突起部・ゴム足を除く)
質 量		700 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● パーソナルコンピュータ要件（ネットワークソフトウェアデコーダー処理用）

パ ソ コ ン	PC-AT 互換機（ネットワーク対応）
パ ソ コ ン 要 件	CPU : Pentium4 3 GHz 以上、Intel Core 2 Duo 1.5 GHz 以上 メモリー : 512 MB 以上（Windows XP）、 2 GB 以上（Windows Vista、Windows 7） ディスプレイアダプター : XGA（1024×768 ドット）以上、DirectX9.0a 以上対応、 Intel チップセット サウンドコントローラー : DirectX9.0a 以上対応 ネットワークアダプター : 100BASE-TX 以上
O S	Windows XP Professional（32 bit 版）*2、Windows Vista Business（32 bit 版）、 Windows 7 Professional（32 bit 版）

*2 .NET Framework 2.0 が別途必要です。

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Pentium、Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

※ ネットワークソフトウェアデコーダー N-SD2000（付属品）は、NAT（ポートフォワーディング、NAPT、IP マスカレード）には対応していませんので、WAN 環境で使用する場合は、VPN などの直接プライベートアドレスで通信できる環境でご使用ください。



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル **0120-108-117**
ナビダイヤル 0570-064-475（有料）
FAX 0570-017-108（有料）
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>